

脂肪肝改善入院 始めました

虎の門病院肝臓内科ではリハビリテーション部、栄養部、看護部協力の下に、2021年6月から脂肪肝の改善を目指した“**脂肪肝改善入院**”を開始しました。

脂肪肝で通院される皆様が、これまでの生活習慣を見直し、適切な食事・運動療法を行うことができるための全面的なサポートをいたします。**(保険適用)**

入院期間：6日間(月曜日から土曜日)

運動指導

理学療法士からの指導が連日20～40分



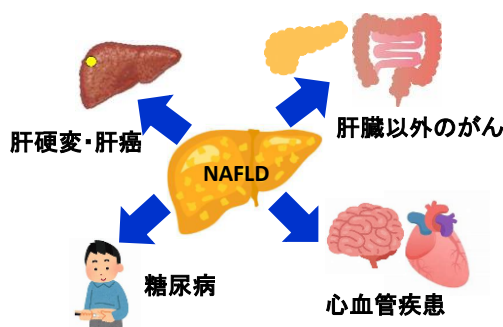
栄養相談

栄養士からの指導1回(30分間)、
体成分分析(体脂肪/筋肉量測定)1回



採血検査

入院時と退院前日の2回
(Fib-4インデックスなどで肝機能評価)



脂肪肝はアルコール性と非アルコール性に大きく分けることができます。近年注目されている非アルコール性の脂肪肝(非アルコール性脂肪性肝疾患[NAFLD])はメタボリックシンドロームに関連した脂肪肝です。NAFLDは本邦に2,000万人以上存在し、その中でも肝硬変や肝癌に進行する可能性のある非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)は400万人前後存在します。3大死因は、心血管疾患(心筋梗塞や脳卒中)、肝臓以外のがん(大腸がん、膵がん、乳がん)、肝臓病の進行(肝硬変や肝がん)で、これらは肝臓の硬さ(肝線維化)の悪化に伴いリスクが増加します。NASHに対して肝線維化の改善を目指した臨床試験が世界中で行われてきましたが未だ承認された薬剤はありません。現在、NAFLD/NASH診療ガイドラインで推奨されているのは食事・運動療法で、適切な運動と食生活の改善が現時点では最適な治療です。

脂肪肝改善入院が、脂肪肝の皆様の治療に対するモチベーション向上に繋がるようサポートします。

ご希望の方は**肝臓内科主治医**へご相談ください。

虎の門病院肝臓内科、リハビリテーション部、栄養部、看護部スタッフ 一同